

12 市 立 病 院

1 市立総合病院

(1) 沿 革

明治12年に、木村謙斎、川瀬玄探ら8氏の主唱により字馬喰町地内に私立大館病院として創設され、その後、明治15年に50か町村連合による公立大館病院が成立。明治32年には字長倉地内に新築移転、更に、昭和2年字三ノ丸地内に新築移転した。昭和28年4月の大火により全施設を消失し、昭和30年2月までに現在地（豊町）に新築移転した。昭和39年からは公立大館総合病院となったが、財政事情の悪化により昭和41年2月12日に病院を運営する一部事務組合 公立大館総合病院事務組合（大館市、田代町、花矢町で組織）を解散し、翌13日に大館市が一切を継承した大館市立総合病院として発足した。

財政再建を進めながら、昭和45年5月には本館棟、昭和55年3月には放射線棟、昭和56年10月には神経精神科棟、昭和59年10月には新館棟、平成9年11月には新館棟屋上に教育実習棟が完成し、平成12年から平成21年にかけては高層棟などの大規模な増改築事業を行った。

また、地域の中核病院として医療の質の向上を図るため、平成24年度にDPC病院への移行と病院機能評価の認定、平成25年度に臨床研修評価の認定を受け、そして平成26年度には地域連携室の開設や電子カルテの導入などに取り組んできた。さらに、平成28年度の地域包括ケア病棟導入と認知症疾患医療センター設置、平成30年度には鹿角地域の産科機能の集約化から患者の受け入れ体制を強化した。令和3年度より、地域の中核医療機関として救急医療機能の体制整備を行い、24時間体制での緊急PCI受入れを開始、令和6年度には地域救命救急センターを整備し、重症患者の受け入れ拡大を図るなど一層の診療機能の充実に努めた。令和7年には同年認定された地域医療連携推進法人「北鹿ヘルスケアネット」に中心的立場として参画し、医療と介護の連携により将来にわたって必要な医療サービスの提供を目指している。

明治12年	「私立大館病院」として創設
15年	東大館町などの50カ町村連合による「公立大館病院」が発足
32年	字長倉地内へ新築移転
昭和 2年	字三ノ丸地内へ新築移転
28年 4月	風呂屋町から発生した大火によって全施設を消失
30年 2月	現在地（豊町）に新築移転 許可病床数 一般147床、結核268床の計415床
30年 4月 ～12月	伝染病棟及び精神病棟完成 許可病床数 一般207床、結核268床、伝染36床、精神50床の計561床
39年 4月	「公立大館総合病院」へ名称変更 許可病床数 一般219床、結核303床、精神180床、伝染28床 計730床
41年 2月	極度の財政事情悪化により「公立大館総合病院」を運営する一部事務組合は12日に解散。翌13日には大館市が一切を継承し「大館市立総合病院」として発足。許可病床数は、一般213床、結核207床、精神180床、伝染30床の計630床 一部事務組合より継承した不良債務は3億7,400万円に上り、その解消を図るため、向後9カ年の財政再建計画を策定し、自治省より再建団体の指定を受ける
昭和45年 5月	本館棟を改築（地下1階、地上6階、総事業費6億9,400万円） 許可病床数は、一般290床、結核150床、精神180床、伝染30床の計650床（昭和46年3月時点）

46年～	病床数の変更 昭和46年7月 646床、昭和47年1月 481床、昭和47年6月 一般325
47年	床、結核70床、精神80床、伝染26床の計501床
49年	再建団体の指定解除
55年 3月	放射線棟を増築(事業費10億500万円)
10月	病床数の変更 一般325床、結核70床、精神110床、伝染26床の計531床
56年10月	神経精神科棟を全面改築(事業費5億3,735万円)
58年 7月	病床数の変更 一般375床、結核10床、精神110床、伝染10床の計505床
59年10月	新館棟を増築(総事業費13億3,797万円)
63年11月	豊町に医師住宅を建築(総事業費4億867万円)
平成 6年 3月	放射線棟MR I 室の増築(総事業費2億1,423万円)
7年11月	昭和63年度頃から経営が悪化し、国の第四次病院事業経営健全化措置による病院健全化団体に指定される
9年 7月	積極的な経営健全化に努めた結果、病院健全化団体の指定解除
11月	新館棟屋上に教育実習棟を増築(総事業費2億2,926万円)
11年 4月	病床数の変更 一般375床、結核10床、精神110床、感染2床の計497床
12年～	地上11階建屋上ヘリポート設置の高層棟の増築(本館棟の解体)、管理棟(旧新
21年	館棟)及び放射線棟の一部改築などの増改築事業を実施(総事業費108億400万円)
	許可病床数 一般375床、結核6床、精神110床、感染2床 計493床
20年 4月	地方公営企業法の全部適用により病院事業管理者を設置
12月	平成19年12月に国が示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、「病院事業経営改革プラン」を策定
21年 5月	7対1入院基本料施設基準の取得(一般・結核)
11月	弘前大学との間で「専門医養成ネットワークに関する協定」を締結
22年 6月	病院ロゴマークの制定
8月	病院広報誌「おおだて病院だより」を発行
23年 1月	院内保育所を開設(事業費1,942万円)
12月	人工透析室を拡張(事業費9,520万円)
24年 2月	「病院事業経営改革プラン」の見直し
24年 4月	DPC対象病院となる
	病床数の変更 一般375床、結核6床、精神60床、感染2床 計443床
	診療科名の見直し(新設、廃止、名称変更により22科から24科へ)
10月	外来駐車場を50台分拡張(1,380㎡ 事業費1,282万円)
11月	売店をコンビニエンスストアとして新規開店
12月	看護師奨学金貸与条例を制定
平成25年 1月	病院機能評価(ver6.0)の認定を受ける
11月	「総合病院年報」第1号を発行
25年12月	高校生病院見学会開催
	弘前大学寄附講座(H25.10開設)によるフューチャードクターセミナー開催

26年 2月	臨床研修評価の認定を受ける
26年 5月	地域連携室を開設
26年 7月	あきたハートフルネット利用開始。県内参加医療機関との情報共有が可能となる
26年11月	電子カルテを含む新医療情報システムが稼働。患者一人1カルテ体制となる
27年 4月	呼吸器外科を新設。がん診療連携拠点病院として常勤医師2名の診療体制となる
28年 2月	臨床研修評価更新のため受審し、認定を受ける 地域がん診療連携拠点病院として平成32年3月まで4年間の指定を受ける
28年 4月	地域包括ケア病棟を導入
10月	認知症疾患医療センターを設置
29年 3月	平成27年3月に国が示した「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、「病院事業経営改革プラン」を策定
5月	病院の理念・基本方針の見直しを行う
30年 1月	病院機能評価更新（精神科病院を含む3rdG:ver1.1）の認定を受ける
3月	臨床研修評価更新の認定を受ける
10月	鹿角地域の産科機能の集約化
10月	院内保育所で病児保育を開始
31年 4月	地域がん診療連携拠点病院として令和5年3月まで4年間の指定を受ける
令和元年10月	県より秋田D P A T病院の指定を受ける
2年	新型コロナウイルス対応重点医療機関としての体制整備を図る
3年10月	24時間体制での緊急P C I受入れを開始
11月	電子カルテ等の医療情報システムを更新
4年 4月	院内で初の診療看護師を配置する
5月	「患者さんの権利」の見直しを行う
5年 3月	地域がん診療病院として令和9年3月まで4年間の指定を受ける
6年 4月	既存救急室等を増改築し地域救命救急センターを開設 訪問看護ステーションを開設
10月	「こども患者さんの権利」を制定する
7年 3月	病院機能評価更新（精神科病院を含む3rdG:ver1.1）の認定(更新)を受ける
4月	4法人で設立した北鹿ヘルスケアネットが地域医療連携推進法人の認定を受ける
4月	北秋田地域の分娩受け入れの一部と、鹿角地域の小児科入院機能の集約化
10月	入院セットサービスを開始
8年 4月	紹介受診重点医療機関の指定を受ける

(2) 施設の概要

①所在地	大館市豊町3—1 (TEL42-5370)		
②敷 地	病院敷地・・・	36,608m ²	公舎敷地・・・ 3,124m ²
③建 物	病 院 (R C 造 1 1 階 建 他)	43,862.63m ²	
	職員宿舎 (R C 造 3 階 建)	4 戸建 1 棟	431.81m ² (赤館)
	〃 (R C 造 4 階 建)	16戸建 1 棟	2,491.95m ² (豊町)
	〃 (木 造 モ ル タ ル 造)	2 戸	187.15m ² (桜町)
	計	46,973.54m ²	

④ 病院建物区分

病棟等	位置	面積(m ²)	備 考
高 層 棟	1 階	2,874.97	薬剤科、栄養科、剖検室、中央監視室、電気・機械室
	2 階	2,762.68	産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、内分泌・代謝・神経内科、共通処置室、歯科口腔外科・矯正歯科
	3 階	2,673.92	小児科、麻酔科、産婦人科、皮膚科、外科、臨床検査科、健診室
	4 階	2,386.29	手術室、中央材料室、臨床工学科、臨床工学器材保管庫
	M4 階	1,371.65	機械室、ビット
	5 病棟	5 階	1,826.07 産婦人科、小児科
	6 病棟	6 階	1,791.13 外科、HCU、循環器内科
	7 病棟	7 階	1,791.13 整形外科、外科、歯科口腔外科・矯正歯科、内分泌・代謝・神経内科
	8 病棟	8 階	1,791.13 脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
	9 病棟	9 階	1,791.13 消化器・血液・腫瘍内科、耳鼻咽喉科、感染症病室
	10病棟	10階	1,791.13 地域包括ケア病棟
	11病棟	11階	1,791.13 呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、結核病室
	PH 1 階	878.03	外調機置場
	PH 2 階	165.08	EVホール、ヘリポート
	PH 3 階	138.43	EV機械室、高架水槽
	計	25,823.90	
モ ー ル	1 階	547.05	SPD倉庫、備蓄倉庫
	2 階	1,196.55	受付ホール、正面玄関、患者サポートセンター相談室、入院案内ほか
	3 階	716.56	コンビニエンスストア、イートインスペース、ギャラリー、地域救命救急センター
	計	2,460.16	
管 理 棟	1 階	1,417.61	診療情報管理室(医療情報係)、寝具倉庫、消毒室、院内保育所、病児保育室
	2 階	1,386.94	整形外科、リハビリテーション科、会計窓口、医事課、患者サポートセンター、医師事務支援室、認知症疾患医療センター、緩和ケアセンター
	3 階	1,389.86	泌尿器科、人工透析室、管理者室、院長室、看護部長室、看護管理室、医療安全推進室、感染制御室、経営企画課、総務課、人事課
	4 階	1,389.80	医局、第一会議室、図書室
	5 階	867.19	教育実習室施設、第三会議室、第四会議室
	PH 1 階	416.21	EV機械室
	計	6,867.61	
放 射 線 棟	1 階	1,254.16	カルテ・フィルム庫
	2 階	1,809.29	レントゲン室、MRI室、ライナック室、地域救命救急センター
	3 階	1,378.40	消化器・血液・腫瘍内科、放射線科、化学療法室、RI室、読影室、地域救命救急センター
	PH 1 階	343.53	EV機械室
	計	4,785.38	
神 経 精 神 科 棟	1 階	1,516.97	神経精神科外来、訪問看護ステーション、認定看護師室、第五会議室
	2 階	1,811.66	神経精神科病棟
	PH 1 階	27.00	EV機械室
	計	3,355.63	
その他		569.95	旧独身寮、渡り廊下、塵芥保管庫 ほか
合 計		43,862.63	

⑤ 看護体制	一 般 病 棟	7 対 1	(地域包括ケア病棟は13対1以上)
	結 核 病 棟	7 対 1	
	神経精神病棟	13対1	

(3) 理念と基本方針（令和8年5月変更）

〔理 念〕 私たちは、患者さんが安心と満足を得られる医療を展開します。

〔基本方針〕

1. 患者さん中心の「医療」

患者さんとの信頼関係を大切にし、病める人への配慮を常に忘れず、心のこもった患者さん中心の医療を提供します。

2. 地域の中核病院としての「医療」

地域中核病院としての役割を担い、二次医療を中心に業務を遂行します。
常に医療の安全と医療水準の向上をめざし、診療機能の充実を図ります。
地域の医療、保健、福祉との連携を緊密にし、地域住民の健康を守ります。

3. 全職員参加の「医療」

全職員は、自己の業務を十分に理解し、他の医療職種との連携を図ってチーム医療を推進し、自己に課せられた業務に意欲的に取り組み、病院機能の一層の充実を図ります。
全職員は、病院運営に参加しているという自覚を持ちます。

4. 地域医療を担う「人材の育成」

臨床研修指定病院・各学会認定研修施設・臨床実習病院として、教育・研修体制の充実強化を図り、次世代の地域医療を担う人材を育成します。

〔患者さんの権利〕

患者さんには次のような権利があります。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 公平かつ平等な医療を受ける権利 | 2. 尊厳を尊重される権利 |
| 3. 十分な説明を受ける権利 | 4. 自己決定の権利 |
| 5. 情報を知る権利 | 6. 他の医師の意見を聞く権利 |
| 7. 個人情報を守られる権利 | |

〔こども患者さんの権利〕

- あなたは、どのような病気にかかったときでも、ほかの人と同じようによい医療を受けることができます。
- あなたは、どのようなときでも、ひとりの人間として大切にされ、病院の人たちやご家族と力を合わせながら医療を受けることができます。
- あなたは、病気のことや病気を治していく方法を、あなたがわかることばや絵などを使って病院の人に教えてもらうことができます。
- あなたは、病気のことや病気を治す方法について、十分な説明を受けたうえで、自分の考えや気持ちを病院の人やご家族に伝えることができます。
- あなたは、わからないことや不安なことがあるときはいつでも、ご家族や病院の人たちに聞いたり、話したりすることができます。
- あなたは、入院しているときでも、できるかぎりご家族と一緒に過ごすことができます。
- あなたは、入院していても、勉強したり、遊んだりすることができます。
- あなたは、自分が大切にしたいこと、知られたくないことが守られる権利があります。他の人に伝える必要があるときは、その理由とともに伝えてよいかをあなたに確認します。
- あなたの病気がよくなるように、あなたのからだや気持ちのことをできるだけ詳しく病院の人たちに伝えるようにしてください。
- あなたとみんなが気持ちよく過ごすために、病院のやくそくをまもってください。

(4) 業 務 内 容

① 職員数

(令和8年5月1日現在)

区 分	職員(人)	区 分	職員(人)
管 理 者	1 (1)	医 療 安 全 推 進 室	1
診 療 局	153 (53)	臨 床 工 学 科	6
《診療局内訳》		神経精神科リハビリテーション室	4
院 長	1 (1)	認知症疾患医療センター	1
診 療 科 (詳 細 次 表)	91 (52)	N P 室	2
		臨 床 研 修 セ ン タ ー	1
		看 護 部	334
薬 剤 科	18	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	3
臨 床 検 査 科	21	事 務 局	37
栄 養 科	7	計	528 (54)

() 内は常勤医師数

② 外来患者及び診療科職員数

(令和8年5月1日現在)

診療科名等	外来1日平均患者数 (7年度実績)(人)	職員(人)	診療科名等	外来1日平均患者数 (7年度実績)(人)	職員(人)
呼 吸 器 内 科	30	3 (3)	脳 神 経 外 科	25	4 (4)
循 環 器 内 科	57	4 (4)	皮 膚 科	62	0 (0)
消化器・血液・腫瘍内科	123	6 (6)	泌 尿 器 科	142	3 (3)
内分泌・代謝・神経内科	100	3 (3)	産 婦 人 科	77	5 (5)
神 経 精 神 科	54	3 (3)	眼 科	34	2 (0)
小 児 科	54	4 (4)	耳 鼻 咽 喉 科	22	2 (2)
外 科	52	6 (6)	歯科口腔外科・矯正歯科	39	2 (2)
呼 吸 器 外 科	13	2 (2)	放 射 線 科	16	16 (0)
整 形 外 科	109	3 (3)	麻 酔 科	0	2 (2)
リハビリテーション科	※整形外科に含む	21 (0)	計	1,009	91 (52)

() 内は常勤医師数

③ 入 院 患 者

区 分	一般病床	結核病床	精神病床	感染症病床	計
許 可 病 床 数	375床	6床	60床	2床	443床
1日平均患者数(7年度実績)	268人	1人	23人	0人	292人

(5) 業務の推移

※令和8年度患者数及び診療収入は予算見込み。

※職員数は年度末時点（令和8年度は5月1日時点）

年度区分			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
病 床 数			443床	443床	443床	443床
患 者 数	外 来	1 日 平 均	975人	985人	1,009人	1,006人
		年 計	237,037人	239,360人	244,057人	242,446人
	入 院	1 日 平 均	267人	289人	292人	319人
		年 計	97,705人	105,621人	106,747人	116,435人
診 療 収 入	外 来	患者1人1日平均	16,527円	16,937円	18,109円	18,500円
		年 計	3,917,624千円	4,054,103千円	4,419,568千円	4,485,251千円
	入 院	患者1人1日平均	52,235円	53,143円	53,586円	55,089円
		年 計	5,103,646千円	5,613,058千円	5,720,106千円	6,414,327千円
	年 合 計		9,021,270千円	9,667,161千円	10,139,674千円	10,899,578千円
職 員 数	管 理 者		1 人	1 人	1 人	1 人
	医 師		50人	52人	52人	53人
	看護師（准看護含む）		333人	338人	339人	340人
	医 療 技 術 員		91人	93人	96人	96人
	事 務 職 員		32人	35人	35人	37人
	そ の 他 職 員		1 人	1 人	1 人	1 人
	計		508人	520人	524人	528人

※ 外来に訪問看護は含まない。

2 市立扇田病院

(1) 沿革

当院は明治40年11月、扇田町により内科、外科、眼科の3科からなる「公立扇田病院」として開設された。同42年には、地元資産家等の支援により施設が新築されたが、その施設も大正5年9月に火災に遭い、焼失。同8年に389㎡の新病院が再建された。

昭和2年には産婦人科、同3年には耳鼻咽喉科を増設。京都大学の鳥潟隆三博士（大館市花岡町出身）の協力を得て、内科、産婦人科、外科に同大学より医学博士を招聘し、診療体制の充実を図り、県内外より患者が殺到し、経営も好調であった。同7年には東館村独鈷と錦村毛馬内に出張所を開設した。

昭和30年合併により比内町が町制施行されたのを機に病院整備事業に着手し、5棟延べ面積3,000㎡を超える充実した施設に改築された。また同33年には、医局が京都大学系から弘前大学系へと交替した。39年に患者送迎バスの運行を開始し、住民の受診の利便性向上を図った。41年には附属准看護婦学院を開設し、49年までの8年間にわたり看護職員の人材育成に努めた。

昭和58年12月には比内町の長年の懸案であった移転新築工事が終了し、現在地での診療を開始。内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、皮膚泌尿器科、産婦人科の診療科8科、一般病床110床の近代的な設備に一新した。翌年には病床数を150床に増床し、同60年には総合病院の認可を受けている。

平成5年には予防医療の充実を図るため、ドック棟（591㎡）を増築。同13年には院外処方による医薬分業を実施。また疾病の早期発見と高精度化のため、MR Iを導入した。同15年には高齢化社会の到来に対応するために、一般病床の一部を療養病床に転換した（一般病床94床、療養病床42床）。平成18年8月には産婦人科医師の大学からの派遣が中止されたため、県内有数の分娩数を誇った産婦人科病棟が廃止された。一方で、「オープンベッド」や「夕やけ診療」などの新規事業にも積極的に取り組んでいる。平成20年4月1日には小児科、皮膚科、産婦人科の3科を廃止し、内科、外科を総合診療科に統合した。令和7年4月には経営状況を踏まえ、大館市病院事業経営強化プランに基づき一般病床62床、療養病床42床を療養病床40床に縮小した。令和9年4月に無床診療所となるが、地域に必要な医療を継続して提供できるよう効率的な経営基盤の確立を目指している。

(2) 施設の概要

- ① 所在地 大館市比内町扇田字本道端7番地1（TEL 55-1255）
- ② 敷地 病院敷地……………16,643㎡
- ③ 建物 病院（RC造）……………9,305㎡
- ④ 病院建物区分

病棟等	位置	面積(㎡)	備考
管理部門	S 階	1,189	機械室、電気室、中央監視室、栄養科事務室、厨房、食品庫、リネン室、洗濯室、霊安室、書庫、その他
	1 階	1,473	正面玄関、事務室、診療情報管理室、当直室、更衣室、地域連携室、ホール、売店、守衛室、倉庫、その他
	2 階	609	医局、院長室、副院長室、看護部長室、図書室、小会議室、デイルーム、その他
	3 階	947	機械室、倉庫、多目的室
	4 階	890	機械室、倉庫
	5 階	44	ポンプ室
	P H	117	ポンプ室、機械室
	計	5,269	

病 棟 等		位 置	面積(㎡)	備 考
診 療 部 門		S 階	66	解剖室、準備室
		1 階	2,189	総合診療科（内科、外科）、中央処置室、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、発熱外来、救急処置室、検診室、心エコー室、特診室、内視鏡室、X線撮影室、CT室、一般検査室、生理検査室、機能訓練室、電気治療室、薬局、薬品庫、外来待合室、その他
		2 階	615	人間ドック診察室、手術室、準備室、更衣室、消毒室、サブライセセンター
		3 階	151	救急処置室
		計	3,021	
病 棟 部 門	第2病棟	2 階	872	療養病床
		3 階	0	－
		4 階	0	－
		5 階	143	サンルーム、浴室
		P H	0	－
		計	1,015	

(3) 理念と目標

〔理 念〕 地域の皆様の「心の支えとなる病院」をめざします

- 〔基本方針〕
- 1 地域の皆様の健康と福祉の増進に貢献します
 - 2 地域の皆様の健康な生活を支える役割を果たします
 - 3 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します
 - 4 地域の医療機関との連携を保ち、信頼される医療活動に努めます

(4) 業 務 内 容

① 1日平均患者数

(令和7年度実績)

診療科名	外 来	入 院	備 考
総合診療科(内科、外科)	84.1人	0.0人	
整 形 外 科	6.3人	0.0人	
眼 科	0.0人	0.0人	
耳 鼻 咽 喉 科	0.0人	0.0人	
療 養 病 床	—	34.7人	
合 計	90.4人	34.7人	

(5) 業 務 推 移

年 度 区 分			令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
病 床 数			104床	104床	40床	40床
患 者 数	外 来	1 日 平 均	97.8人	92.7人	90.4人	110.0人
		年 計	23,742人	22,519人	21,870人	26,510人
	入 院	1 日 平 均	68.3人	49.4人	34.7人	38.0人
		年 計	25,015人	18,043人	12,674人	13,870人
診 療 収 入	外 来	患 者 1 人 1 日 平 均	10,885円	11,223円	10,675円	11,000円
		年 計	258,442千円	252,734千円	233,473千円	291,610千円
	入 院	患 者 1 人 1 日 平 均	27,028円	29,148円	32,311円	34,000円
		年 計	676,094千円	525,918千円	409,508千円	471,580千円
	年 合 計		934,536千円	778,652千円	642,981千円	748,730千円
職 員	医 師		3 人	3 人	1 人	1 人
	看 護 師 (含 准 看)		46人	40人	30人	31人
	医 療 技 術 員		10人	10人	9 人	8 人
	事 務 職 員		10人	9 人	9 人	9 人
	計		69人	62人	49人	49人

※ 令和 8 年度患者数及び診療収入は予算見込み。

※ 職員数は年度末時点(令和 8 年度は 4 月 1 日時点)